

■ 平成16年度GIS学会賞報告 ■

学会賞選考委員会委員長 岡部篤行

学会賞委員会では、GISが多様な部門から成り立っていることを考慮し、それぞれの部門で優れた研究を表彰するべく、学会賞設立以来、部門を増やす検討を続けてきました。今年度は、従来の「研究奨励部門」、「学術論文部門」に加えて、新に「ソフトウェア部門」を設けました。

審査は、学会賞委員会の12名の委員により、公表している審査方法に従って厳正な審査を行い、理事会において、4名の学会賞者が承認されました。

研究奨励賞部門の受賞者は、関本義秀氏、増山篤氏の2名です。関本氏は、『GIS-理論と応用』に2編、『GIS学会講演論文』に4編の論文を発表しています。主要な論文は、「多様な観測データや知識を用いた地物の時空間変化の再構成手法」で、時空間変化を捉えるデータモデルの研究を行ったものです。増山氏は、『GIS-理論と応用』に3編、『GIS学会講演論文』に7編の論文を発表しています。主要な論文は「二つの連続面間の空間的関係を探索的に分析する方法」で、探索的な分析手法の研究を行ったものです。両者とも、今後に発展が期待される新たな分野での研究で、これらの研究を奨励するのにふさわしいとして高く評価いたしました。

学術論文部門の受賞者は、寺木彰造氏です。寺木氏のGIS関連研究への貢献は大別すると3つのテーマにまとめられます。第1のテーマは、空間情報の精確さの評価で、平面位置座標の精確さを評価する4種類の手法を開発しています。第2のテーマは、都市計画へのGIS活用で、都市データで基本となる建築物の形状の精確さと表示縮尺の関係を解明しています。第3のテーマは、災害対策へのGIS活用で、阪神淡路大震災の建物被害状況をはじめとするGISデータ整備法を提案しています。これら3つの分野にわたり11編の質の高い審査付き学術論文を発表したことを高く評価いたしました。

ソフトウェア部門の受賞者は、谷謙二氏です。谷氏の作成したMANDARAは、いまさら紹介するまでもなく広く知られており、実際、毎月1000件ほどがダウンロードされるなど大変多く利用されています。そのソフトウェアは、使いやすさ、新規性、拡張性、安定性において極めて優れたソフトウェアであり、高く評価いたしました。

以上、4名の受賞者の受賞をお祝い申し上げますとともに、今後、ますます研究成果を挙げることを願っております。

■ IT理事会報告(8~10月) ■

■ 8月IT理事会(9月4日開催)

- ・測量系CPD協議会参加について了承された。
- ・GIS技術資格委員会の最近の活動について了承された。
- ・GIS技術資格対応の参加証について報告が了承された。

■ 9月IT理事会(9月15日開催)

- ・大会発表応募規定の発表題数について、来年度から発表者は1人1題に限ること、講演発表論文に独立性・完結性の無いものは不採用にすることが了承された。
- ・大会論文作成要項のページ規定について、原則4頁とする。奇数頁、7頁以上は不可とすることが了承された。
- ・「g-Contents WORLD 2004」への参加について承認された。

■ 10月IT理事会(10月28日開催)

- ・学会後援の「彩の国環境地図作品展」へ「地理情報システム学会賞」を授与することが了承された。
- ・組織委員会に2名の追加委員が了承された。
- ・新潟県中越地震への支援活動について現状報告がされた。

● 平成16年度 第2回 地理情報システム学会理事会議事録

1. 日 時 平成16年10月4日 18:00~21:00

2. 場 所 工学院大学(新宿)高層棟11階 第8会議室
出席者(敬称略): 会長: 山村悦夫、副会長: 村山祐司、浅見泰司、荒田直行、岩井 哲、碓井照子、大場 亨、大和田哲生、岡部篤行、碓崎賢一、金子忠明、久保幸夫、巖 網林、小荒井衛、高阪宏行、小長谷一之、貞広幸雄、高木方隆、田中哲哉、玉川英則、筒井信之、橋本雄一、淵本正隆、増沢延男、松山 洋、矢野桂司、山 利夫、吉永豊一、若林芳樹、福井弘道(以上、30名)
委任状提出者(敬称略): 明野和彦、有川正俊、石澤 孝、大沢 裕、太田守重、奥貫圭一、落合司郎、角本 繁、酒井高正、東明佐久良、中谷友樹、長島雅則、牧野秀夫、増田 聡、吉川 眞(以上15名委任状提出) 全理事58名中、計45名の出席+委任状により成立。

3. 報 告

(1) 会則改正について

6月IT理事会で承認された会則17条(委員会)の改正について、学術委員会と編集委員会の統合/技術資格検討委員会の正式承認、の2点が確認された。

(2) 委員会報告

会長より、学会主催・産業委員会主担当のGISカンファレンス2004(7月15日~16日: 於 六本木アカデミーヒルズ40)の報告があった。2日間で、後援団体40団体、協賛企業61社、延べ1万人の来場者であった。つづいて学会賞委員長より、今年度大会賞の受賞者報告があった。

大会実行委員長からは、大会発表応募規定の改定(9月IT理事会承認、2004年10月改定2005年度より適用)の報告があった。

また会報委員会からはニューズレターの発行について今年度の状況報告があった。組織委員会からは、大学間コンソーシアム組織『空間情報科学研究機構ISIS（仮）』または『地理情報科学研究機構IGIS（仮）』の形成構想の提案があり、全国的なGIS研究開発組織の設立や関連組織への支援、地方組織の充実化などが議論された。

編集委員長からは学術論文審査体制について、これまでの委員長による可否最終取りまとめ業務から、審査体制の見直しを踏まえ、各分野毎の担当者による可否とりまとめへの業務分担へと体制変更があったことなどが報告された。

資格検討委員長からは、GISプロフェッショナルの資格について提案と現状報告がなされた。同資格は、技術教育を開催する主催者を学会が公式に認定するものであり、個人認定ではなく、団体認定・企業認定をするものである。現在は、主に賛助会員を対象組織として準備が進められており、その認定および審査方法をめぐって議論がなされた。

4. 議 題

(1) 次年度大会開催校について

次年度は関西での大会開催を予定しており、開催校および運営体制について確認された。承認された来年度予定は、次のとおり：日時2005年10月13日（木）～10月14日（金）＊理事会12日（水）／会場 大阪工業大学／大会本部（本部長）吉川眞（大阪工業大学）、GISA委員会（大会実行委員長）玉川英則（東京都立大学）

(2) 日韓シンポジウム

今年度の第13回大会で開催される日韓シンポジウムについて承認された。韓国GISAからは、副会長以下、18名の発表者が来日し、発表プログラム内容についても確認された。

(3) その他

大会運営方法および総会の式次第の内容確認や、科学研究費出版補助申請への積極的な取り組みについて議論された。

■平成16年度 第2回 地理情報システム学会総会議事録■

1. 日 時 平成16年10月5日 12：20～13：20

2. 場 所 工学院大学（新宿）3階 0312教室

3. 報 告

(1) 次期大会開催について

標記について、理事会で承認された関西大会について、開催日時と開催校について確認し、承認された。

4. 議 題

(1) 会則改正

資料のとおり、学会会則第17条の改正案が示され、学術委員会と編集委員会の統合、ならびに技術資格検討委員会の正式承認が確認された。

(2) 大会運営

大会発表応募規定について、理事会での審議が報告され承認された。結果、発表応募資格については、発表者

のうちのいずれか1名が学会の個人会員であること、発表者となる論文は1人につき1題に限ること（講演発表とポスターセッションの両方での発表を除く）、大会参加費を徴収すること、他応募の採否や提出物についての変更などが確認された。

大阪市立大学大学院創造都市研究科の公募

1. 応募期間 2004年11月18日（木）～2005年1月7日（金、当日必着）
2. 募集人員 助教授または専任講師1名
3. 概要 都市の環境にかかわる、都市の持続可能な発展、「サステイナブルシティ」、「都市の文化や環境の価値の評価」などの研究領域で教育および研究指導ができる専任教員（都市環境経済または都市環境論）
4. 勤務形態 常勤
5. 研究分野 社会科学または社会工学
6. 応募資格 博士課程修了又は同等以上の能力を有する者。大学や公共団体・民間企業の研究機関等の方で、都市の環境にかかわる、都市の持続可能な発展、「サステイナブルシティ」、「都市の文化や環境の価値の評価」などのテーマについて実証的に研究し、行政職員などの社会人を対象に教育する能力を持っている者。
7. 着任（採用）時期 2005年4月1日
8. 応募書類
 (1) 履歴書 (2) 研究業績リストまたは実務実績リスト（※） (3) 博士課程修了者は著書・論文等の主要な研究業績（現物またはコピー）3点を、博士課程修了者でない方は研究業績3点（現物またはコピー）のほか実務実績説明書（※）を提出してください。
 (※) 実務実績説明書は、時期別の実務の内容を説明した上、顕著な実務業績を記入してください。実務実績には教職を含みます。
9. 【応募締め切り日】：2005年1月7日（金）（当日必着）
10. 【書類送付先】：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学 創造都市研究科 選考委員会委員長 小長谷一之
 (※) 封筒の表に「創造都市研究科教員応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は書留にしてください。提出書類は原則として返却いたしません。
11. 選考方法 選考委員会で、第1次選考（書類審査）及び第2次選考（面接、旅費・宿泊費は応募者負担）を行います。第2次選考は第1次選考の結果に基づき、必要と認められた方のみを対象に行います。
12. 【問い合わせ先】
 (1) 職務内容等について 創造都市研究科 選考委員会 委員長 小長谷一之
 eメール：konagaya@gscs.osaka-cu.ac.jp
 (2) 提出書類について 創造都市研究科 学務係
 電話：06-6605-3507
 詳しくは、ホームページ <http://www.gscs-uep.jp/>